

第6学年 国語科学習指導案

学 級	6年2組	男17名	女15名
授業者	伊藤 佳乃子		
学 級	6年1組	男19名	女15名
授業者	金 子 亨		

1 単元名 ものの見方を広げ、絵画を紹介しよう
 教材名 「『鳥獣戯画』を読む」「この絵、わたしはこう見る」(光村図書6年)

2 単元の目標

- 絵巻物に対する筆者の見解に興味をもち、文章を読もうとする。(関心・意欲・態度)
- 表現の効果を確かめたり工夫したりして、絵の紹介文を書く。(書くこと(1)オ)
- 事実と感想・意見などとの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読む。(読むこと(1)ウ)
- 文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。(読むこと(1)オ)
- 文末表現や助詞の使い方など、語句に着目して読み、語句と語句の関係を理解する。
(伝国(1)イ(オ))

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・絵巻物などに興味をもち、文章を読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵から感じたことの中から書くことを決め、全体を見通して事柄を整理することができる。 ・紹介文を書くために必要な絵の見方を広げ、感じたことを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者がどのようなことを根拠として考えを述べているかをとらえている。 ・筆者の意図と表現の工夫との関連について考えている。 ・文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文末表現や助詞の使い方など語句に着目して読み、語句と語句との関係を理解している。

4 単元について

(1) 児童について

説明文「時計の時間と心の時間」の学習においては、筆者の主張を捉え、自分の考えをもちながら読むことを学習した。自分の考えをもつために、文章を自分の知識や経験と照らし合わせながら読み、判断したり批評したりする学習活動を取り入れた。そのことにより、筆者は何を述べているのか、どうしてこのような書き方をしているのかといった筆者の意図をとらえること、そして、筆者の考えに対して、自分は何を根拠にどのように考えるのか、常に自分の考えをもちながら読む力をつけてきている。

しかし、話すことに対してやや消極的であり、友達と自分の考えの相違点を明らかにしながら自分の考えを広げたり深めたりする力が十分とはいえない。

(2) 教材について

本教材「『鳥獣戯画』を読む」では、アニメーション映画のプロのものの見方を知ることができるとともに、アニメーションのルーツともいえる「鳥獣戯画」などの絵巻物が伝統文化として深く息づいてきたものであることを知り、日本の伝統文化の深さにも触れることができる。「鳥獣戯画」は漫画のようなユーモアのある作品であり、児童からは筆者とはまた違う解釈・評価の声が聞けると予想される。筆者の考えと自分の考えとの比較を通して、さまざまな感じ方やものの見方につなげていくことができると考える。

また、「この絵、わたしはこう見る」は、「鳥獣戯画」から学んだものの見方を生かしながら、感じたことを表現していく教材であり、両教材は深く関わっている。これらのことから、自分の考えを明確にしながら読み、考えたことを交流し合う中で、自分の考えを広げるために適した教材であると考えられる。

(3) 指導にあたって

本単元では、「C 読むこと」の「ウ 事実と感想・意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんだりすること」、「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」を指導事項とする。そこで、「鳥獣戯画」に対する児童の興味・関心が高まるようにするとともに、自分と筆者のものの見方の違いに着目し筆者の工夫を見つけ、友達と交流し合って気づいたことを活かしながら紹介文を書く言語活動を設定した。学習材「鳥獣戯画を読む」の学習において多様なものの見方・考え方に気づかせ、自分の学びの高まりを「絵画の紹介文」に活かすことで、付けたい力の定着を図ることができる。と考える。

第一次および毎時間の導入において、単元のゴールと本時の学習の関連を意識させながら、これまで学習したどんな力が活かそうかの見通しをもたせ、学びの振り返りを裏付けるもの。としたい。自分のものの見方を広げるといふねらいに迫るために、第二次では文章と絵を照らし合わせ番号シールをつけながら読み、筆者のものの見方をとらえさせる活動を取り入れる。また、表現の工夫等に注目しながら、サイドラインをつけて読むようにする。読み取ったことや感じたことを表すさまざまな表現に触れさせていく。考えを表現し交流する学習活動では、グループで共通点や相違点を見つけながら、みんなが考えを出し合えるような手立てを組む。その際、自分が選択した絵画を見せ、説明内容に該当する部分を指さしたりしながら、聞き手にわかりやすいように伝えられるようにする。第三次では、互いの発表を共感・肯定しながら聞き合い、考えを広げられるようにしたい。

5 研究に関わる手立てについて

(1) 手立て1 身に付ける力を明確にした言語活動の工夫について

- ・単元のゴールの明確化を図るため、教師が作成したモデル文を提示する。
- ・「鳥獣戯画を読む」で学んだ着眼点やほめ言葉などを活かす観点とともに、児童の興味・関心にも配慮しながら、紹介文を書く絵画を提示するようにする。
- ・鳥獣戯画を絵巻物の形で掲示するとともに、授業では「鳥獣戯画を読む」の全文を掲示し、筆者が絵のどの部分についてどのように記述しているかがわかるようにして、筆者の絵に対する感じ方や評価などの学習に活かしていく。
- ・同じ絵画を選んだグループごとに、紹介したいよさを選んで短冊に書き込む。他の絵の発表を聞きながら、自分が選んだ絵画の紹介文でも活かそうだと思ったことをメモさせる。

(2) 手立て2 効果的な振り返り活動の工夫について

- ・本時の学習が言語活動にどのように活かされるのかを捉えさせるため、単元の学習の流れと、1時間ごとの学習内容や振り返りが見通せるワークシートを活用する。
- ・振り返りの観点に沿って自分の学びについて振り返り、本時に身に付けた力を確認する。・毎時間の学習内容が、単元のゴールに活かせる学習活動であることを確認するための場として、振り返り活動を活用する。

6 単元の指導・評価計画 (10 時間)

段階	時間	学習目標	学習活動	指導の手立て☆評価(方法)
つかむ (一次)	1	○絵を最初に見た自分の感じ方と文章を比べて読むことで、筆者のものの見方に対して関心をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 絵画の評論家になって、よさを伝える紹介文を書こう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣戯画を見て感じたことをワークシートにまとめ、筆者のものの見方や感じ方との違いに気づく。 ・学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵巻物の紹介文のモデルを示すとともに、紹介文を書くための絵画を複数提示し、単元のゴールへの見通しをもたせる。 ☆絵について自分の感じ方と冒頭の文章を比べながら、筆者のものの見方や感じ方について感想を述べている。(発言・ワークシート)
	2・3	○筆者が、絵の描き方や絵巻物について、どんな感じ方や評価をしているか、絵と文章を照らし合わせながら読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章と絵を照らし合わせながら本文を読む。 ・絵や絵巻物に対する筆者の評価に対し、自分の考えや感想をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の見方のとらえ方として教科書に示されている3項目を確認する。 ・読み取る際の視点を明らかにさせる。

わかる(二次)				☆筆者が絵のどの部分を取り上げ、何に着目し、絵や絵巻物をどう評価しているかについて読み取っている。 (発言・ワークシート)
	4 (二組本時)	○考えを効果的に伝えるための表現の工夫について考える。	・表現の工夫について考え、話し合う。	・学習の視点を提示し、その視点に沿って考えさせる。 ☆筆者の表現の工夫、その効果について学んだことをもとにまとめている。 (発言・ワークシート)
	5	○選んだ絵画から読み取ったことと感じたことを区別して書く。	・複数の絵から自分が紹介文を書く絵を決定し、紹介したい内容をワークシートにまとめる。	・事実と感想を区別して付箋紙に書かせる。 ☆選んだ絵から読み取ったことと感じたことを区別して書いている。 (ワークシート)
	6 (二組本時)	○選んだ絵画の紹介文で伝えたいよさを伝え合い、自分の考えを広げる。	・紹介文に活かしたい絵の見方や、さまざまなほめ言葉を伝え合うことで、自分の考えを広げる。	・歴史的知識の習得ではなく、ものの見方の広がりに着目させる。 ☆絵を見る人に伝えたい思いや、よさを伝えるための絵の見方やほめ言葉について伝え合い、それぞれの考えのよさを共感し合う。 (発言・ワークシート)
活かす(三次)	7	○自分が選んだ絵について紹介する内容を整理し、紹介文の中心を決定する。	・これまでの学習を活かし、自分はその絵のどのよさを詳しく伝えたいか考える。	・前時に出し合った内容から、紹介文に取り入れる内容を取捨選択させる。 ☆絵画から読み取ったことを、事実と意見を区別したり軽重をつけたりして整理している。 (ワークシート)
	8・9	○表現の工夫を考えて紹介文を書く。	・「『鳥獣戯画』を読む」の表現の工夫をふりかえる。 ・表現や構成の工夫を考えて紹介文を書く。	・表現の工夫についてふりかえる。 ☆表現や構成の工夫を考えて紹介文を書いている。 (ワークシート)
	10	○書いたものを読み合い、絵の見方のよさや表現に着目して助言し合うことで、ものの見方や表現を広げる。	・互いの紹介文を読み合い感想を交流する。 ・単元の振り返りを行い、考えの広がりや深まりについて認め合う。	・友達がどのような見方・感じ方を伝えたくて、どんな表現の工夫をしたのか、見方と表現の工夫を大切にして話し合わせる。 ☆友達の見方のよさや表現のしかたに着目して助言し合うことで、ものの見方や表現方法を広げている。 (ワークシート)

※ 事前の図画工作の時間に「鳥獣戯画」の鑑賞文を書く活動を行っている。

7 本時の指導（2組 4／10時間）

(1) 目標

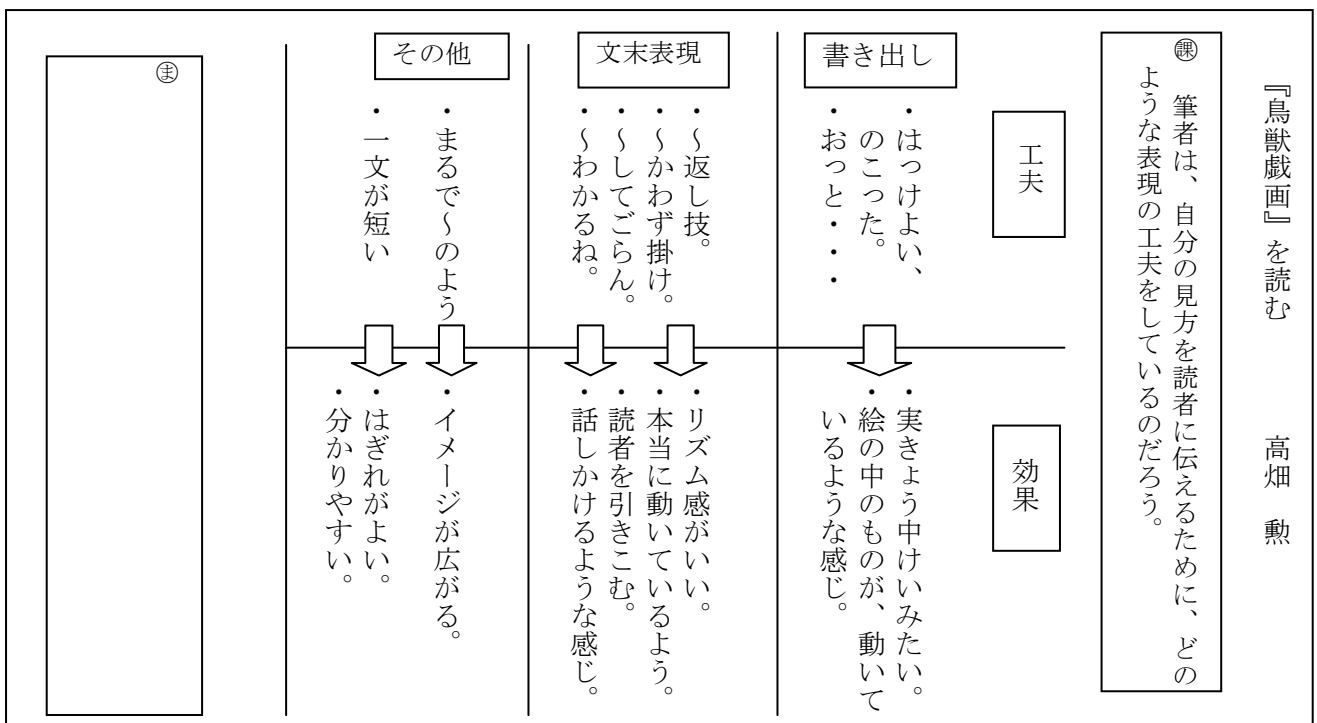
考えを効果的に伝えるための表現の工夫について考えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動 ◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 【評価と支援】
つかむ (5分)	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を想起する。 ◆評価を表す言葉があったね。 ◆筆者の着目点があったね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><学習課題> 筆者は、自分の見方を読者に伝えるために、どのような表現の工夫をしているのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆視点に沿って、筆者の書き方の工夫をたくさん見つけよう。 ◆書き出しの工夫から見つけていこうかな。 	<p>○前時は、絵と文章を照らし合わせながら、筆者の見方を読み取り、評価が表れている言葉を整理したことを確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><手立て2> 本時の学習のゴール「筆者の表現の工夫を見つけ、その効果について考える」を確認する。また、前時までに学習した筆者の書きぶりをもとに、学習の視点を全体で確認し、見通しを持たせる。</p> </div>
深める (33分)	<p>2 表現の工夫を見つけ、その効果について考える。(自力解決)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫を見つけ、付箋に書く。 ・どの視点に当てはまるか考え、分類する。 ア…書き出しの工夫 イ…文末の工夫 ウ…その他の工夫 ・その効果について考えを書く。 <p>3 友達と意見交流し、お互いの考えを整理する。また、効果について話し合う。(グループ学習)</p> <p>4 視点に沿って、それぞれのグループで話し合った意見を出し合う。(全体交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「はっけよい、のこった。」は、絵の中のものが、今、動いているような感じを受ける。 ◆「～してごらん。」は、読者に話しかけているような感じがして、引き込まれる。 ◆「まるで～のよう」を使うと、イメージが広がるね。 <p>5 まとめを書く。</p>	<p>○時間を決め、集中して取り組ませる。</p> <p>○付箋を活用し、見つけた工夫を箇条書きに書かせる。</p> <p>○作業が速い児童には、その他の工夫もたくさん探すよう指示する。</p> <p>○表現の工夫を見つけるだけでなく、どんな効果があるかについても考えるよう助言する。</p> <p>○付箋を活用し、グループごとに視点に沿ってワークシートに整理させる。</p> <p>○効果についてもそれぞれの考えを出し合い、話し合うよう助言する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><手立て1> 自分の考えを整理するだけでなく、自分の考えを深めたり広めたりするために、グループでの話し合いの場を設ける。自力解決で活用した付箋を活用することで、話し合いがスムーズに行われるようにする。</p> </div> <p>○友達との共通点や相違点を考えながら聞き、それぞれの考えを全体で共有する。</p>

		<p>○本時の学習活動をふり返り，課題に対するまとめを各自ノートに書かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】 筆者の表現の工夫，その効果について，学んだことをもとにまとめている。 (ノート)</p> <p>【支援】 どう書けばいいか悩んでいる児童には，書き出しの言葉を指定する。</p> </div>
振り返る (7分)	<p>6 本時の学習を振り返る。 <手立て2> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <振り返りの観点> ・今日の学習でわかったこと，できたこと ・友達から学んだこと ・今後の学習に活かしたいこと </div> ◆筆者がたくさん工夫をしていることが分かった。紹介文を書くときに，書き出しの工夫をしてみたい。 ◆今日は，たくさん工夫を見つけることができたし，効果についても考えることができた。自分が紹介文を書くときに，書き出しや文末の工夫を取り入れたい。 </p> <p>7 次時の予告をする。</p>	<p>○本時の学習について振り返り，認め，励ます。 ○振り返りの観点を提示する。 ○本時の学習の感想なども大事にして，達成感をもたせる工夫をする。</p> <p>○次は，複数の絵から自分が紹介文を書く絵を決定し，これまでの学習を基に読み取っていくことを確認する。</p>

(3) 板書計画



7 本時の指導（1組 6／10時間）

(1) 目標

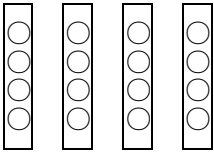
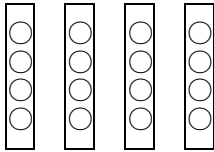
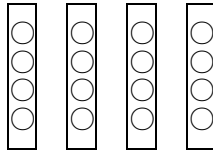
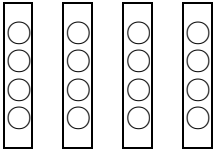
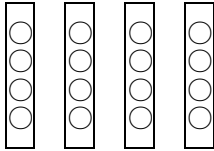
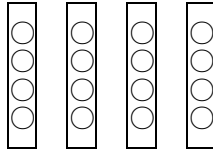
絵画の紹介文で紹介したいよさを伝え合い、自分の考えを広げる。

(2) 展開

段階	学習内容 ◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 【評価と支援】
つかむ 5分	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 絵画の紹介文でみんなに紹介したいよさを伝え合い、考えを広げよう。 </div></p>	<p>○自分が選んだ絵画について、前時に事実と感想とに分けて書き出したことを確認する。</p> <p>○本時では、前時に書き出したことを発表し合い、自分の考えを広げながら、紹介文に活かしていくための見通しをもつことを確認する。</p> <p><手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 本時の学習のゴール「紹介文で紹介したいよさを伝え合う」を確認し、選んだ絵画のから様々な着眼点でよさを見つけていることや、いろいろなほめ言葉を用いていることからお互いに学び合っていけばよいという見通しをもたせる。 </div>
深める 35分	<p>3 聞くときの留意点について確認する。</p> <p>4 各自が見つけたよさをグループで発表し合う。</p> <p>5 グループごとに選んだ絵画のよさ、絵画の該当する部分を指さしながら発表する。 ◆筆のタッチが細かい。 ◆表情に迫力がある。 ◆香りや温度まで伝わってくるようだ。 ◆にらみ合っているようにも見えるが、実はお互いに協力し合っているのではないか。</p> <p>6 考えが広がった部分について交流する。</p>	<p>・○自分の考えとの共通点や相違点を見つけながら、お互いの考えを認め合って肯定的に聞くことを確認する。</p> <p><手立て1></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 同じ絵画を選んだグループごとに、お互いの考えの共通点や相違点を見つめる。発表する内容を選んで短冊に書き込む。他の絵の発表を聞きながら、自分が選んだ絵画の紹介文でも活かせそうだったことをメモさせる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価】 絵画の紹介文に活かせそうな様々な着眼点やほめ言葉などを伝え合い、自分の考えを広げることができる。</p> <p>【支援】 違う絵画からも様々な着眼点やほめ言葉などを活かしていけることに着目させる。</p> </div> <p>○いろいろな見方、友達の見方を尊重しながら交流させる。</p>

振り返る 5分	7 学習の振り返りをする。 <手立て2> <振り返りの観点> ・今日の学習でわかったこと、できたこと ・友達から学んだこと ・今後の学習に活かしたいこと ◆絵の中の人物の気持ちまで想像していたのがすごい。 ◆同じ部分でも人によって見方が違うことに気づいた。 ◆紹介文を書く際には、〇〇さんが紹介していたようなほめ言葉を使ってみよう。 8 次時の予告をする。	○自分の考えについて自己評価するとともに、友達の考えのよさから今日学んだことは何かを振り返らせる。 ○次は、自分が選んだ絵画の紹介文を書くために用いる材料を整理することを伝える。
------------	---	--

(3) 板書計画

紹介文で選ぶ 予定の絵画 	紹介文で選ぶ 予定の絵画 	紹介文で選ぶ 予定の絵画 	<p style="text-align: center;"> ○自分の考えとにているところ（共通点） ○自分の考えとちがうところ（相違点） ← 認め合う・肯定的に聞く </p>
紹介文で選ぶ 予定の絵画 	紹介文で選ぶ 予定の絵画 	紹介文で選ぶ 予定の絵画 	

『鳥獣戯画』を読む

絵画の紹介文でみんなに紹介したいよさを伝え合い、考えを広げよう。